

## 消防団の活躍と現状

消防団とは、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。

所属する消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、日頃は本業に就きながら、火災はもちろん、風水害や地震・津波発生時の対応など、市民を守るためにさまざまな活動を行っています。

# まちのヒーロー、消防団

家族を守り、市民を守り、このまちを守るため



このまちを、  
そして団員を 守る



陸前高田市消防団 団長  
おおさか 大坂 司さん

初めての火災現場、そして震災

昭和57年に入団し、消防団歴は40年以上になる中で、令和3年4月から団長を務めています。

振り返ってみて印象に残っていることは、初めての火災現場です。真冬に発生した住宅火災に出動し、凍った屋根に上つて足場に気をつけながら放水した記憶があります。

そして東日本大震災。多くの仲間が被害にあった中で大変なこともありました

が、それ以上に、屯所で長期間寝泊まり

していた自分たちに、地域の皆さんのが食事を用意してくれるなど、本当に助けていただいたという感謝の思いが今も強く残っています。

「つながり」という魅力

消防団の魅力は、震災時の経験に代表されるように、人や地域とのつながりができることです。市内や気仙地区の消防団員、また地域の皆さんと顔を合わせる機会が増え、それが消防活動の現場でも生かされ、さら

には一生付き合えるような仲間もできました。いざという時に助け合える人がいることは、自身にとっての強みにもなると思います。

### 団員の確保に向けて

一方で、全国的な傾向と同様に、団員の確保は本市消防団にとどても切実な課題です。来年4月からは、引退した元団員などが特定の活動や役割に限定して参加する「機能別消防団員制度」の導入を予定しています。また、後方支援などを担う女性団員の入団促進にも、企業訪問などを通じて力を入れていきたいと思っています。

### 絶対に殉職者を出さない

危険な現場に出動する立場もある消防団ですが、各団員はむづろん、無事を願つて送り出してくれる家族の皆さんのためにも、時には撤退する勇気も必要だと考えています。

団長として、絶対に殉職者を出してはいけないという思いを強く持ち続けながら、地域に頼られる存在でありたいと思っています。

団員の皆さん、そしてそのご家族の皆さんには、消防団活動にご理解ご協力をいただき感謝いたします。

また、入団を検討している皆さん、男女問わず大歓迎です。ぜひつながりをつくりながら、一緒にこのまちを守っています。

## 期待の若手団員へ インタビュー



高田分団第3部  
菅野久秀さん(28)  
令和3年6月 入団



矢作分団第3部  
菅野直城さん(34)  
平成30年6月 入団

消防活動を地域で支える

高校卒業後は、4年間市外にいましたが、その時から地元に戻ったら消防団に入団しようと考えていました。

消防団の魅力は、つながりができることです。移住してきた人やさまざまな業種の人

と知り合うことで、消防活動や普段の仕事にも生かせるつながりをつくることができると思います。

夜間や勤務中の出動など大変なこともありますが、火事が複数箇所で発生した際など、消防署だけでは対応が難しい場合もあり、地域に詳しい消防団の協力は重要なことだと考えています。

今後、上の立場になつても自分の役割を果たせるよう、先輩方から学びながら頑張っていきたいと思います。

【図】本市消防団の団員数推移

